

# 第8回日本医薬品情報学会 総会・学術大会

in Fukui



2005年6月11日(土)・12日(日)

福井商工会議所

主催:日本医薬品情報学会

共催:福井県病院薬剤師会

**JASDI**

Japanese Society of  
Drug Informatics

医薬品情報と  
ファーマコビジランス



講演要旨集

第8回日本医薬品情報学会総会・学術大会  
in FUKUI

大会長：政田幹夫（福井大学医学部教授 附属病院薬剤部長）

講演要旨集

医薬品情報とファーマコビジランス

日 時：平成17年6月11日（土）・12日（日）

場 所：福井商工会議所

（〒918-8580 福井市西木田2-8-1 : 0776-36-8111）

## 第8回日本医薬品情報学会総会・学術大会開催にあたって

この度、第8回日本医薬品情報学会総会・学術大会を福井大学医学部附属病院薬剤部が担当し、福井市で開催する運びとなりました。

医薬品をめぐる状況は、近年大きく変化し、薬理活性・治療効果が高い反面、副作用の発現率あるいは重篤度の高い医薬品が開発・市販されてきています。医薬品適正使用のための、ソフトとしての医薬品情報が必要不可欠なものであることはいうまでもなく、医薬品情報学会の果たすべき役割は重要です。

今回は、本年4月から薬事法改正により施行されたGVPを我々の分野でどう理解し発展させていくのかを考えるために「医薬品情報とファーマコビジランス」をメインテーマとして厚生労働省医薬食品局安全対策課の平山佳伸課長に基調講演をお願いし4名のシンポジストと議論していただき、またミニシンポジウムとして使用促進策の打ち出されている後発医薬品に焦点を当て「後発医薬品と医薬品情報」のテーマで、ささえあい医療人権センターCOMLの辻本好子氏に基調講演をお願いし5名のシンポジストと議論していただき薬剤師として、また医師・患者さんに対して後発医薬品の医薬品情報のあり方を考えたいと思います。特別講演では薬学部出身の日本経済新聞社編集委員の中村雅美氏に「もの、情報、倫理

医薬品に欠かせないもの」の演題でジャーナリストとして医薬品情報のあり方の観点から講演していただくことになっています。ランチョンセミナーでは「大規模臨床試験と日常臨床 どこまで信じ、いかに活用するか」と題し、医薬品情報を臨床現場でどう読み取り活かしていくのかを榊原記念病院住吉徹哉副院長に講演をお願いしています。

一般講演の演題も37題と充分に出揃いました。参加される先生方との実りある活発な討論を期待しております。また、これを機に、医薬品情報に関する研究と実践応用が益々の発展をみることを願っております。

最後に、本総会・学術大会の開催にあたり、主催の日本医薬品情報学会、特別講演者、ランチョンセミナー演者、シンポジスト、座長、一般講演者の方々のご協力に対して実行委員会一同ここに感謝申し上げます。

平成17年6月吉日

第8回日本医薬品情報学会総会・学術大会  
大会長

政田 幹夫

会場周辺地図

会場案内

大会日程

お知らせとお願い

プログラム

学術大会会長講演：「薬師ルネッサンス」 政田幹夫

シンポジウム：医薬品情報とファーマコビジランス

ランチョンセミナー：

「大規模臨床試験と日常臨床 - どこまで信じ、いかに活用するか - 」 住吉徹哉

特別講演：「もの、情報、倫理 - - 医薬品にかかせないもの」 中村雅美

ミニシンポジウム：後発医薬品と医薬品情報

一般講演口頭1（1日目）

一般講演口頭2（2日目）

# 会場周辺地図

## 会場周辺地図



- ・ JR福井駅よりタクシーで3分、徒歩で15分
- ・ 北陸自動車道 福井インターより車で15分

## 会場案内

### 会場案内



#### ■ 福井商工会議所ビルへの交通アクセス

東京	新幹線利用 東京-米原(JR 特急)-福井:約 2時間 30分
	飛行機利用 羽田空港-小松空港(小松=福井直行バス)-福井:約 2時間 30分
大阪	JR 特急利用 大阪-福井:2時間
名古屋	JR 特急利用 名古屋-福井:2時間

#### ■ 福井商工会議所ビルへの交通機関案内

バス	京福バス利用 JR 福井駅前通り 京福バス8番乗り場より「花道」(ハ) 利用、「福井商工会議所前」下車、徒歩1分
	福越バス利用 放送会館乗り場より「武生行を越」利用、「福井商工会
電車	福井鉄道利用 JR 福井駅前より福越線「武生行を」普通電車、「公園
タクシー	JR 福井駅前タクシー乗り場より
徒歩	JR 福井駅前大通りを直進し、緑ビル角(大名町交差点)を左折、「
	通りを直進、所要時間約 15分

駐車場：有料 駐車台数：300台

## 大会日程

8月11日(土)		8月12日(日)	
		9:00～	開場
		9:30～	検査 <span style="float: right;">〈会場1:エンベシオンホール〉</span>
		9:00～	一般講演口頭2 〈会場1:エンベシオンホール〉 C12-1～C11-12  〈会場2:国際ホール〉 K12-1～K12-13
11:30～	幹事会(11:30～12:30) <span style="float: right;">〈会場:8階 特別会議室〉</span>	12:00～	ランチョンセミナー 「犯差する循環器疾患の EBM」とどこまで活用し、いかに活用するか 住吉 敏幸(福原記念病院) 座長: 留月 真弓(北里大学薬学部) <span style="float: right;">〈会場1:エンベシオンホール〉</span>
11:30	開場・受付	13:00～	特別講演 「もの、情報、倫理-医薬品情報に欠かせないもの」 中村 雅典(日本経済新聞社) 座長: 上田 孝典(福井大学医学部附属病院) <span style="float: right;">〈会場1:エンベシオンホール〉</span>
13:00	開催挨拶 政田 幹夫 (福井大学医学部附属病院)	14:00	ミニシンポジウム 「後発医薬品と医薬品情報」 座長: 中島 恵典(共立薬科大学) 大森 栄(信州大学医学部附属病院) 基調講演: 辻本 好子 (ささえあい医療人権センター-COHL) シンポジスト: ・佐々木 忠徳(亀田総合病院) ・平塚 英治(富士製薬) ・高橋 嘉輝(沢井製薬) ・中村 敏明(福井大学医学部附属病院) ・上原 恵子(日本医薬情報センター) <span style="float: right;">〈会場1:エンベシオンホール〉</span>
13:05～	学術大会基調講演「薬研ルネッサンス」 政田 幹夫 (福井大学医学部附属病院) 座長: 畠 賢一(京都大学医学部附属病院) <span style="float: right;">〈会場1:エンベシオンホール〉</span>	16:45	次回会長紹介及び開会挨拶 山崎幹夫(日本医薬品情報学会会長) <span style="float: right;">〈会場1:エンベシオンホール〉</span>
13:40～	一般講演口頭1 〈会場1:エンベシオンホール〉 C11-1～C11-8  〈会場2:国際ホール〉 K11-1～K11-8	18:00～	懇親会 レストランブローニュ (福井商工会議所8階)
15:00～	シンポジウム 「医薬品情報とファーマエジタランス」 座長: 高橋 潤夫(第一製薬) 折井 孝男(MIT 東日本関東病院) 基調講演: 平山 佳伸(厚生労働省) シンポジスト: ・海老原 裕(くすりの適正使用協議会) ・澤田 雅裕(第一製薬) ・後藤 伸之(福井大学医学部附属病院) ・貞松 直喜(メディアセオホールディングス) <span style="float: right;">〈会場1:エンベシオンホール〉</span>		

## お知らせとお願い

### 参加者の皆様へ

1. 総合受付:6月11日(土)~12日(日)福井商工会議所地下1階 コンベンションホール、国際ホールにて行います。
2. 参加費:全て当日扱いとします。受付にお支払ください。
  - 1) 一般会員 4,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円(要旨代金込み)
  - 2) 懇親会:会員・非会員 4,000 円、学生 2,000 円なお、要旨集別売り価格は 1,000 円です。当日、学会への新規ご入会のご案内について、受付並びにて行っております。
3. 会場運営等に関するお願い:
  - 1) 会場内では必ず参加証をおつけください。
  - 2) 会場内では携帯電話の電源を切るかマナーモードにする等ご配慮ください。なお、喫煙はご遠慮ください。
4. 研修シール:日本薬剤師研修センター6単位(2日間)の認定された学会です。研修シールご希望の方は当日受付にお申し出下さい。

### 一般講演(口頭)演者の方へ

1. 発表機材について:
  - 1) 一般講演(口頭)は、Microsoft Power Point(Windows)を用いてお願いいたします。
  - 2) 原則として、こちらで準備した会場設置のパソコン(Windows)を使用し、操作は演者自身で行っていただきます。
2. 発表時間について:

一般講演(口頭)の発表時間は、1演題 12分(講演 8分、質問 4分)です。時間厳守でお願いいたします。演者は講演 10分前までに、会場左手最前列の次演者席にお着き下さい。
3. Microsoft Power Point(Windows)について:
  - 1) 講演の図表等は Microsoft Power Point(Windows)で作成し、Office2000 に相当するバージョンで保存してください。CD、MO ディスクあるいはフロッピーディスクに保存したものを、6月2日(木)までに事務局宛に郵送してください(必着)。事務局で会場設置用のパソコンに保存します
  - 2) 1)で郵送したものと同一内容のものを保存して会場にご持参ください。
  - 3) Macintosh にて作成した場合でも、最終的に必ず Windows に変換した後保存してください。その場合、「ずれ」や「文字化け」がないかご確認をお願いいたします。
  - 4) 各演者は、講演 1 時間前までに、口頭発表受付にて、演者自身が試写し、「ずれ」あるいは「文字化け」などないことをご確認ください。
  - 5) 上記につきましてご質問などございましたら、事務局までご連絡ください。



### 座長の方へ

座長の方は、開始 15 分前までに総合受付横の座長受付で登録してください。会場内の右手最前列に次座長席をご用意しております。

時間を節約するため、質疑・討論を希望する方はマイクの前に予め並んでいただくようにご指示ください。進行中の時間厳守をお願いいたします。

### 討論される方へ

質疑・討論などは座長の指示に従い、所属氏名を明らかにした上で行ってください。また、時間を節約するために質疑・討論を希望する方はマイクの前に予めお並びください。

### 特別講演について

特別講演は 6 月 12 日(日)13:00 からコンベンションホールで行います。

### シンポジウムについて

シンポジウムは 6 月 11 日(土)15:00 からコンベンションホールで行います。

### ミニシンポジウムについて

ミニシンポジウムは 6 月 12 日(日)14:05 からコンベンションホールで行います。

### 総会について

日本医薬品情報学会総会は 6 月 12 日(日) 8:30 からコンベンションホールで行います。多数のご出席をお願いいたします。

### 懇親会について

懇親会は 6 月 11 日(土)18:00 より福井商工会議所 8 階 レストランローニュで行います。参加者は必ず参加証を付けてご出席ください。

### ランチョンセミナーについて

ランチョンセミナーは 6 月 12 日(日)12:00 からコンベンションホールで行います。

6 月 12 日(日)8:00 より受付にて弁当引き換え券を配布いたします。数に限りがございますのでご了承ください。

### クロークについて(11 日(土) 11:30 ~ 17:45、 12 日(日) 8:00 ~ 17:00 )

クロークは福井商工会議所地下ロビーに設置いたしますのでご利用ください。なお、貴重品や壊れやすい物(コンピュータ等)のお預かりは出来かねますのでご了承ください。時間が過ぎましたら閉鎖いたしますのでご注意ください。

### 幹事会の開催について

日本医薬品情報学会幹事会を6月11日(土)11:30～12:30まで福井商工会議所6階 特別会議室で開催いたします。昼食をご用意します。(代金1,000円は当日徴収させていただきます)。

### 大会本部について

大会本部は福井商工会議所地下ロビーに設置いたします。

### ご宿泊について

ご宿泊施設等の斡旋は行っておりません。

### 総会・学術大会問い合わせ先:

〒910-1193 福井県吉田郡松岡町下合月字23

福井大学医学部附属病院薬剤部内

第8回日本医薬品情報学会総会・学術大会

事務局:後藤 伸之 E-mail:ngoto@fmsrsa.fukui-med.ac.jp

TEL:0776-61-8528 FAX:0776-61-8169

## プログラム

1日目 6月11日(コンベンションホール)13:05～13:35

座長：乾 賢一(京都大学医学部教授)

学術大会会長講演 薬師ルネッサンス

政田 幹夫(福井大学医学部教授 附属病院薬剤部長)

1日目 6月11日(コンベンションホール)15:00～17:30

シンポジウム：医薬品情報とファーマコビジランス

座長：高柳 輝夫(第一製薬(株)) 折井 孝男(NTT 東日本関東病院薬剤部長)

基調講演：厚生労働省医薬食品局安全対策課長	平山 佳伸
くすりの適正使用協議会	海老原 格
第一製薬(株)	澤田雅裕
福井大学医学部附属病院薬剤部	後藤伸之
クラヤ三星堂PMSグループ	貞松直喜

2日目 6月12日(コンベンションホール)12:00～12:50

ランチョンセミナー 座長：望月 眞弓(北里大学薬学部教授)

大規模臨床試験と日常臨床 - どこまで信じ、いかに活用するか -

榊原記念病院 副病院長 住吉 徹哉

2日目 6月12日(コンベンションホール)13:00～14:00

特別講演 座長：上田 孝典(福井大学医学部附属病院長)

「もの、情報、倫理 - - 医薬品にかかせないもの」

日本経済新聞社 編集委員 中村 雅美

2日目 6月12日(コンベンションホール)14:05～16:45

ミニシンポジウム：後発医薬品と医薬品情報

座長：中島恵美(共立薬科大学) 大森 栄(信州大学薬剤部長)

基調講演：ささえあい医療人権センターCOML	辻本好子
亀田総合病院薬剤部	佐々木忠徳
富士製薬工業株式会社	草塩英治
沢井製薬株式会社	高橋嘉輝
福井大学医学部附属病院薬剤部	中村敏明
日本医薬情報センター	上原恵子

2日目 6月12日(コンベンションホール)16:45～

次回会長紹介及び閉会挨拶 山崎幹夫(日本医薬品情報学会会長)

一般講演口頭1(1日目)

6月11日(コンベンションホール)13:40~14:52

座長:木津 純子(共立薬科大学) 濱敏弘(癌研究会有明病院)

C11-1: 妊婦使用医薬品に関するリスクカテゴリーの比較研究

田中真砂<sup>1)</sup>、林昌洋<sup>1)</sup>、加藤賢朗<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 薬剤部、<sup>2)</sup>産婦人科

C11-2: 医薬品添付文書情報の問題点について

関谷 泰明、山添 喜久雄

朝日大学歯学部附属村上記念病院薬局

C11-3: 添付文書に記載されている製造・販売中止薬に関する調査と記載のあり方について

光吉 孝浩、太田 隆文、砂金 信義、宇留野 強

東京理科大学薬学部臨床薬学研究室

C11-4: 医療用医薬品添付文書中の相互作用情報の問題点 CYP3A4阻害作用 -

構木泰信<sup>1)</sup>、石田志朗<sup>1)</sup>、安藤哲信<sup>2)</sup>、世良庄司<sup>3)</sup>、吉井清治<sup>3)</sup>、岡野善郎<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>徳島文理大学薬学部 <sup>2)</sup>吉備高原ルミエール病院薬剤科 <sup>3)</sup>(株)システムヨシイ

C11-5: 医療用医薬品錠剤の形状に関する調査研究

石井陽介、斎藤阿佐呼、玉井友子、高木美帆、鹿島亜沙美、小林貴志、福本恭子、上野和行  
新潟薬科大学薬学部 医薬品情報学教室学

C11-6: 医療用医薬品の薬効分類別の含量、組成、性状の調査研究

山岸利隆、南條美幸、諸橋朱美、矢吹宏美、小林真理子、田中絵里子、福本恭子、上野和行  
新潟薬科大学薬学部 医薬品情報学教室

6月11日(国際ホール)13:40~14:52

座長:大谷壽一(東大) 岸本紀子(福神(株))

K11-1: 医療機関受診前の一般用医薬品の使用実態に関する調査研究

宇佐美 孝、橋口正行、望月眞弓

北里大学薬学部臨床薬学研究センター医薬品情報部門

K11-2: ドリンク剤と作業能力に関する研究 健常被験者を対象とした二重盲検試験 -

○井澤美苗<sup>1)</sup>、伊藤博之<sup>1)</sup>、中島恵美<sup>1)</sup>、島田英世<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>共立薬科大学薬剤学講座、<sup>2)</sup>島田内科

K11-3: ドリンク剤と作業能力に関する研究(2)

健康被験者二重盲検試験における効果指標(クレペリン検査、WAIS-R)の解析 -  
○伊藤博之<sup>1)</sup>、井澤美苗<sup>1)</sup>、中島恵美<sup>1)</sup>、島田英世<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>共立薬科大学薬剤学講座、<sup>2)</sup>島田内科

K11-4: OTC薬の薬剤情報提供書作成の試み

下平秀夫、旗野道子、大平昭一、後藤孝夫、山田弘志、茂木徹、朝長文彌  
八王子薬剤センター

K11-5: 健康食品の相互作用・有害事象・エビデンスの詳細な情報調査結果

江川典孝、笹嶋勝、大和久尚、高木友直  
日本メディカルシステム株式会社調剤事業部

K11-6: 医薬品情報を利用した試験制度による薬局安全管理～第2報～

笹嶋 勝、大和久 尚、高木 友直  
日本メディカルシステム株式会社調剤事業部

一般講演口頭2 (2日目)

6月12日(コンベンションホール)9:00～10:12

座長: 赤瀬朋秀(日本医療伝道会衣笠病院) 武立啓子(東京女子医科大学病院薬剤部)

C12-1: 電子ファイルで提供されるインタビューフォームの入手状況 ～第4報～

若林 進、永井 茂  
杏林大学医学部付属病院 薬剤部

C12-2: 順天堂大学浦安病院における薬品情報活動の実態 副作用に関する問い合わせの分析-

丸山有紀子、成田久美、小清水敏昌  
順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院薬剤科

C12-3: わが国における医薬品使用実態研究へのWHO ATC/DDDシステムの適用:  
比較可能性の高い測定単位的重要性

竹村麻耶<sup>1)</sup>、川上純一<sup>1)</sup>、足立伊佐雄<sup>1)</sup>、津谷喜一郎<sup>2)</sup>  
<sup>1)</sup>富山医科薬科大学附属病院薬剤部、<sup>2)</sup>東京大学大学院薬学系研究科医薬経済学

C12-4: 腫瘍用薬の取り扱い及び廃棄に関する情報について

串田一樹<sup>1)</sup>、中田栄子<sup>2)</sup>、折井孝男<sup>2)</sup>  
<sup>1)</sup>昭和薬科大学 <sup>2)</sup>NTT東日本関東病院 薬剤部

C12-5: 後発医薬品の安全性情報に関する評価と問題点

渡辺享平、後藤伸之、塚本仁、萱野勇一郎、白波瀬正樹、中村敏明、政田幹夫  
福井大学医学部附属病院薬剤部

C12-6: 個々の薬剤師を取り巻く情報インフラが医薬品情報の認知度に及ぼす影響

堀 里子、三木晶子、大谷壽一、澤田康文  
東京大学大学院薬学系研究科

6月12日(コンベンションホール) 10:20~10:32

座長: 小清水敏昌(順天堂大学浦安病院) 大津史子(名城大学薬学部)

C12-7: 副作用への薬剤部の取り組みと問題点

小野田学時、塚口真穂登、杉山健太郎、坂爪重明、増田寛樹、笹原一久、佐藤博  
新潟大学医歯学総合病院 薬剤部

C12-8: 疑義照会から評価した患者インタビューによる情報収集効果

横井正之、横井裕子  
パスカル薬局

C12-9: 衣笠病院における入院時持参薬の実態調査

日本医療伝道会 衣笠病院 薬剤部  
逆井慎吾、赤瀬朋秀

C12-10: 当院の電子カルテにおける入院時持参薬の対応

濱 敏弘、渡邊 徹、森川 明信  
(財)癌研究会有明病院 薬剤部

C12-11: 石川島播磨重工業健康保険組合播磨病院におけるスタチン系薬剤の使用動向と血清脂質の変動

永江隆二<sup>1)</sup>、石田詞子<sup>2)</sup>、小野達也<sup>2)</sup>、西田英之<sup>2)</sup>、前田光雄<sup>3)</sup>、徳山尚吾<sup>1)</sup>  
1) 神戸学院大学薬学部医療薬学教育研究センター臨床薬学研究室、2) 石川島播磨重工業健康保険組合播磨病院薬剤科、3) 石川島播磨重工業健康保険組合播磨病院内科

C12-12: フルボキサミンの用量及び併用薬に関する使用実態調査

三木晶子、大谷壽一、堀 里子、澤田康文  
東京大学大学院薬学系研究科 医薬品情報学講座

6月12日(国際ホール) 9:00~10:12

座長: 旭 満里子(信州大学医学部附属病院部) 脇屋義文(北陸大学薬学部)

K12-1: OTC薬のe-learningシステムの確立とその評価 - 消化管に作用する薬 -

築地茉莉子、井澤美苗、崔 吉道、中島恵美

共立薬科大学薬剤学講座

K12-2: BMワークショップにおけるEBMの学習効果の検討

- 臨床EBM研究会参加者のアンケート報告から -

渡部一宏<sup>1),3)</sup>、中村清吾<sup>2)</sup>、木津純子<sup>3)</sup>、井上忠夫<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>聖路加国際病院薬剤部, <sup>2)</sup>聖路加国際病院外科, <sup>3)</sup>共立薬科大学実務薬学講座

K12-3: 研修医教育に対するeラーニングの導入

毛利武弘<sup>1)</sup>、池上敬一<sup>2)</sup>、松本富夫<sup>1)</sup>、倉田香織<sup>3)</sup>、土橋朗<sup>3)</sup>、齋藤光弘<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>獨協医科大学越谷病院 薬剤部, <sup>2)</sup>獨協医科大学越谷病院 救急医療科, <sup>3)</sup>東京薬科大学薬学部 医薬品情報解析学教室

K12-4: 医薬品適正使用推進のためのWEBページを用いた薬剤師向けe-Learningシステムの開発と評価

佐田宏子<sup>1)</sup>、大谷壽一<sup>2)</sup>、矢崎泰三<sup>3)</sup>、坂本浩己<sup>3)</sup>、堀 里子<sup>2)</sup>、澤田康文<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>九州大学大学院 薬学研究院, <sup>2)</sup>東京大学大学院 薬学系研究科, <sup>3)</sup>エーザイ株式会社 医薬事業部

K12-5: 制癌剤ティーエスワン(TS-1)の適正使用の実態調査とWeb e-Learningシステム(EL)の構築

辻野靖彦<sup>1)</sup>、杉山清子<sup>1)</sup>、友永雄二<sup>1)</sup>、三木晶子<sup>2)</sup>、堀里子<sup>2)</sup>、大谷壽一<sup>2)</sup>、澤田康文<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>大鵬薬品工業株式会社, <sup>2)</sup>東京大学薬学研究院医薬品情報学講座

K12-6: 服薬補助剤の飲み易さの総合的評価と相互作用情報

石田志朗<sup>1)</sup>、赤井友美<sup>2)</sup>、賀勢泰子<sup>2)</sup>、安藤哲信<sup>3)</sup>、岡野善郎<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>徳島文理大学薬学部医療薬学, <sup>2)</sup>鳴門山上病院薬剤科, <sup>3)</sup>吉備高原ルミエール病院薬剤科

6月12日(国際ホール) 10:20~11:42

座長: 川上純一(富山医薬大) 下平 秀夫(八王子薬剤センター)

K12-7: 添付文書データベースの自動更新プログラムの開発

宇野可奈子、高中紘一郎

新潟薬科大学 毒物学研究室

K12 -8: 外国規制当局による医薬品安全性情報の提供 JAPIC Daily Mail 情報からの考察

日野村靖、鈴木克枝、秋野けい子

(財)日本医薬情報センター(JAPIC) 医薬文献情報担当

K12 -9: 病院内医療スタッフへの迅速かつ正確な医薬品情報提供システムの構築

丸山順也、旭 満里子、大森 栄

信州大学医学部附属病院薬剤部

K12 -10: 糖尿病性腎症に対する

アンジオテンシン 受容体拮抗薬の Web 上でのモノグラフ作成の試み

安岡由佳<sup>1)</sup>、武立啓子<sup>2)</sup>、藤井恵美子<sup>2)</sup>、菅家甫子<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 共立薬科大学大学院臨床薬学講座、<sup>2)</sup> 東京女子医科大学病院薬剤部

K12 -11: オピオイド製剤切替時の最適服用スケジュール策定支援システムの構築

久澄礼子<sup>1)</sup>、大谷壽一<sup>2)</sup>、三木晶子<sup>2)</sup>、堀 里子<sup>2)</sup>、澤田康文<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>九州大学大学院・薬学府・製剤設計学、<sup>2)</sup>東京大学大学院・薬学系研究科・医薬品情報学

K12 -12: 腎障害患者に対する薬物の最適投与設計支援システムの構築

大谷壽一<sup>1)</sup>、長崎優子<sup>2)</sup>、木下由梨<sup>2)</sup>、辻本雅之<sup>2)</sup>、澤田康文<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 東京大学大学院 薬学系研究科、<sup>2)</sup> 九州大学大学院 薬学研究院

K12 -13: PubMed を利用した thalidomide 文献情報の変動の分析

飯嶋久志<sup>1)</sup>、小清水敏昌<sup>2)</sup>、白神 誠<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup> 社団法人千葉県薬剤師会、<sup>2)</sup> 順天堂大学浦安病院、<sup>3)</sup> 日本大学薬学部



1日目 6月11日(コンベンションホール) 13:05～13:35

座長：乾 賢一(京都大学医学部附属病院)

学術大会会長講演 「薬師ルネッサンス」

政田 幹夫(福井大学医学部教授 附属病院薬剤部長)

## 薬師ルネッサンス

福井大学医学部附属病院薬剤部  
教授・薬剤部長 政田幹夫

近年、市販直後に重篤な副作用が発生したり、あるいは10年・20年と長期にわたって使用（この頃には後発医薬品も市販され始める）しているにもかかわらず重篤な副作用が発生し緊急安全性情報（イエローレター）の出される医薬品が数多くある。医師・薬剤師をはじめとする医療機関はもとより、製薬企業・行政においても十分に医薬品を監視し、医薬品にかかわる全ての職種は副作用対策をセーフティー・マネジメントプランに組み込み、未知の危険性をも認識した厳しい市販後管理体制と安全性対策を講じるファーマコビジランス制度の確立を急ぐ必要がある。医薬品に関するセーフティー・マネジメントの基本は、それぞれの立場でひとりひとりが医薬品に対して厳しい目を持つことであり、その判断材料として「医薬品情報」があるはずである。

そもそも医薬品供給サイトは"薬を創り出す（創薬）"のみでなく、創薬した"薬を育てて（育薬）"いかなければならない。この"創薬"と"育薬"がバランスよく成り立たなければ患者さんに安全・安心で有効な医薬品を供給できない。特に"育薬"に最も重要なものは生きた「医薬品情報」である。「医薬品情報」も情報を探し、見つけ出し提供（伝達かもしれない）する"ことから"自ら新しいエビデンス（情報）を創り出し提供する、あるいは検索・収集した情報を解析・評価し新しい情報を創造し提供する"ことにパラダイムシフトすべきである。「医薬品情報」の臨床での更なる応用を実践するにはEBMの考えに基づき、まず臨床研究・薬剤疫学等の研究成果として自ら「医薬品情報」を創り出す"エビデンスをつくる"、偏りのない正しい科学的根拠となりうる「医薬品情報」の収集・解析・評価を行い、整理・整頓を行う"エビデンスをつたえる"、そして医療現場の個々の事例に対し「医薬品情報」を提供・活用し実践する"エビデンスをつかう"の3要素を馳駆する必要がある。

江戸時代の医師・薬師であり儒学者である荻生徂徠は"薬は毒にて候へ共、毒と名を付け申さず候時は、長所を用い候故に候。人を用い候にはその長所を取って、短所に目を付け申さず候時、聖人の道にてござ候"との格言を残しており、薬剤師の果たすべき役割はまさしくこの格言が表しており、この精神はEBMの究極の目的である"doing the right things, and doing things right."に通じる。医薬品適正使用はまさしくその通りであり、"正しいことを行うこと、それを正しく行う"ためには、「医薬品情報」の果たすべき役割は無限に大きく、永遠の課題であろう。

医薬品適正使用に向け、"医薬品を認可する行政"、"医薬品を開発・供給する製薬企業"、"医薬品を使用する医療現場の医師・薬剤師"さらに"医薬品を服用する患者"それぞれの立場でそれぞれの役割を十分に考え認識する必要がある。

協賛会社一覧  
(50音順)

アベンティス ファーマ株式会社  
アボット ジャパン株式会社  
株式会社大塚製薬工場  
大塚製薬株式会社  
科研製薬株式会社  
キリンビール株式会社 医薬カンパニー  
グラクソ・スミスクライン株式会社  
興和株式会社  
三共株式会社  
塩野義製薬株式会社  
住友製薬株式会社  
第一製薬株式会社  
大正富山医薬品株式会社  
大鵬薬品工業株式会社  
武田薬品工業株式会社  
中外製薬株式会社  
トーアエイヨー株式会社  
鳥居薬品株式会社  
日本イーライリリー株式会社  
日本新薬株式会社  
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社  
ニプロファーマ株式会社  
バイエル薬品株式会社  
久光製薬株式会社  
ファイザー株式会社  
福井県医薬品卸業協会  
三菱ウェルファーマ株式会社  
株式会社ミノファージェン製薬  
有限会社 メディカルフィール  
持田製薬株式会社  
ヤンセン ファーマ株式会社  
ワイス株式会社

## 第8回 日本医薬品情報学会総会・学術大会

大会長	政田 幹夫
実行委員長	後藤 伸之
実行委員	中村 敏明
	萱野 勇一郎
	青野 浩直
	林 美由

## 第8回日本医薬品情報学会・学術大会 講演要旨集

---

平成 17 年 6 月 6 日発行

発行所	第8回日本医薬品情報学会総会・学術大会 実行委員会
事務局	〒910-1193 福井県吉田郡松岡町下合月字 23 福井大学医学部附属病院薬剤部内 TEL:0776-61-8528 FAX:0776-61-8169
編集責任者	政田 幹夫、後藤 伸之
制作	福島印刷

---